

## 27年7月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成27年 7月1日～ 27年7月10日

## 2. 調査実施方法

全国の木材チップ工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
7月分の回答企業数は12社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) チップ用国産原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/7月	8月	9月
入荷動向	スギ・ヒノキ	△ 40.0	△ 25.0	△ 15.0
	マツ	△ 35.0	△ 30.0	△ 20.0
	広葉樹	△ 25.0	△ 20.8	△ 8.3
消費動向	スギ・ヒノキ	△ 16.7	0.0	△ 5.6
	マツ	△ 5.6	△ 22.2	△ 22.2
	広葉樹	△ 18.2	△ 4.5	△ 9.1
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 11.1	△ 11.1	△ 5.6
	マツ	△ 16.7	△ 5.6	△ 5.6
	広葉樹	△ 13.6	△ 18.2	△ 13.6

・チップ用国産原木の入荷は3ヵ月連続して減少。

・チップ用国産原木のスギ・ヒノキの消費は7月の減少が、8月は横ばい、9月は再び減少。マツ及び広葉樹は3ヵ月連続して減少。

・チップ用国産原木の在庫は3ヵ月連続して減少。

## (2) チップ用国産原木購入価格動向 Weight. D. I.

品目	27/7月	8月	9月
スギ・ヒノキ	15.0	0.0	0.0
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	4.2	0.0	0.0

・チップ用国産原木の購入価格は、スギ・ヒノキはやや強保合で推移。マツ類は横ばい。広葉樹は総じて保合。

## モニターからのコメント

## (原木荷動き)

- ・広葉樹材（パルプ材）の集荷難しい。消費減少、在庫やや減少（東北）。
- ・仕入は、針葉樹は森林再生事業などの作業の遅れにより未利用間伐材の入荷は減少（9月頃入荷の予定）。広葉樹は梅雨入り不安定な天候のため入荷量も不安定（東北）。
- ・仕入は、雨季のため減少を予測、消費、在庫は変動なし（中国）。
- ・伐採時期が良くないことと住宅着工が良くなくA,B材の使用減にて出材が悪く、チップ原木入荷減、消費は原木不足で減少見通し、仕入減少で在庫減（四国）。
- ・スギ、ヒノキは、春までに伐られたC材が一定量持ち込まれているため余り変動ない、広葉樹は梅雨が明ければ、徐々に入荷が回復すると予想。消費は工場改修のため本工場は休業中、別工場のみ稼働、在庫増（九州）。
- ・長雨で入荷は悪い、広葉樹は原材料不足で消費は減少傾向（九州）。

## (原木価格)

- ・広葉樹、場所によっては値上げあり、強含み（東北）。
- ・変動なし（中国）。
- ・変動なし（四国）。
- ・発電用の原木価格に引きずられ針葉樹はジリ高（四国）。
- ・バイオマス発電燃料用原木のからみもあり、スギA材、B材は製品出荷減のため価格が低下、C材は需要増で価格が安定、広葉樹チップ用は横ばい（九州）。

## 27年7月分 木材チップの荷動き・価格先行き動向調査 2

## 4. 調査結果の概要

## (1) 木材チップの荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/7月	8月	9月
生産動向	スギ・ヒノキ	△ 38.9	△ 5.6	△ 11.1
	マツ類	△ 33.3	△ 27.8	△ 33.3
	広葉樹	△ 27.3	0.0	△ 18.2
出荷動向	スギ・ヒノキ	△ 35.0	△ 5.0	△ 10.0
	マツ類	△ 25.0	△ 25.0	△ 30.0
	広葉樹	△ 25.0	0.0	△ 20.8
在庫動向	スギ・ヒノキ	△ 25.0	△ 18.8	△ 18.8
	マツ類	△ 37.5	△ 31.3	△ 31.3
	広葉樹	△ 27.8	△ 16.7	△ 16.7

・木材チップの生産は広葉樹の8月の横ばいを除いて、各品目とも3ヵ月連続して減少。

・木材チップの消費は広葉樹の8月の横ばいを除いて、各品目とも3ヵ月連続して減少。

・木材チップの在庫は各品目とも3ヵ月連続して減少。

## (2) 木材チップ出荷価格動向(自社サイロ下渡し)W

品目	27/7月	8月	9月
スギ・ヒノキ類	0.0	0.0	0.0
マツ類	0.0	0.0	0.0
広葉樹	0.0	0.0	0.0

・木材チップの出荷価格は各品目とも横ばいで推移。

## モニターからのコメント

## (木材チップ荷動き)

- ・入荷量を見極めながらの生産、出荷変わらず、在庫なし（東北）。
- ・変動なし（中国）。
- ・生産は燃料用安定、製紙用・ボード用は原木不足で生産減少。出荷も燃料用安定、製紙用・ボード用は減少。在庫は燃料用、製紙用・ボード用共に減少（四国）。
- ・本工場改修中で生産は大幅減、第2工場で能力の7割程度は燃料用チップを生産をしており、残り3割は製紙用針葉樹チップを生産（九州）。
- ・注文に応じた生産、消費（九州）。

## (木材チップ価格)

- ・変わらず（東北）。
- ・変動なし（中国）。
- ・変動なし（四国）。
- ・製紙用は変動なし（九州）。